

国内大会・講習会等開催におけるガイドラインについて

1.卓球競技大会開催時の感染防止策について

都道府県知事の方針に反しないことが大前提となる。

(1)卓球競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

- ・都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する。
 - ※会場の方針も確認する
- ・参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ・競技種目はシングルスのみとする。
- ・当面の間、競技大会は無観客 該当者、スタッフ、マスコミのみ
 - ※介助が必要な方は、付き添いは原則 1 名までとする。
- ・大会前 2 週間以内で 以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求める。
雛形利用 当日体温測定結果によっても辞退をお願いする
 - *平熱を超える発熱(おおむね 37 度 5 分以上)がある。
 - *風邪の症状(咳、のどの痛みなど)がある。
 - *倦怠感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難(息苦しさなど)がある。
 - *嗅覚や味覚の異常がある。
 - *新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
 - *同居家族や身近な知人に感染が疑われる者(上記の症状を有する者)がいる。
 - *政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。
- ・参加希望者に以下の項目の遵守を文書等にて周知する (雛形利用)
 - *マスクを持参すること。
(参加受付時や試合待機時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)
 - *こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。(図 1 参照)
 - *他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ 2m 以上)を確保すること。
(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
 - *大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
 - *感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
 - *大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを推奨すること

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

*大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること。



(厚生労働省:新しい生活様式を参照)

(2)当日の参加受付時の留意事項

- ・受付には、手指消毒剤を設置すること
- ・発熱・咳・呼吸困難・倦怠感などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。
※張り紙等に対応する。
(状況によっては、サーモグラフィーや非接触体温計などで発熱者を特定し入場を制限することも検討する。)
- ・人と人が対面する場所は、三つの密を避けるよう配慮すること。
※大勢集まってしまった場合の待機スペースを確保する。
- ・参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと
- ・受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- ・インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできる限り避けるようにすること
- ・参加者から以下の事項を記載した書面の提出を事前に求めること。(雛形利用)
 - * (氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)) → 大会エントリー時に登録
 - * 当日、チェック表・抽選用氏名記載用紙の提出の依頼
 - * 体調チェック表の記入について
 - ・大会当日の体温 → 体調チェック表に記入
 - ・大会前 2 週間における以下の事項の有無
 - ・平熱を超える発熱(おおむね 37 度 5 分以上)がある
 - ・風邪の症状(咳、のどの痛みなど)がある
 - ・倦怠(けんたい)感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難(息苦しさなど)がある。
 - ・嗅覚や味覚の異常がある。

- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方(上記の症状を有する方)がいる。
- ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

(3)卓球競技大会参加者への対応

- ・体調チェック表の提出
- ・マスク等の準備
参加者がマスクを準備しているか確認する。
競技中のマスクの着用は不要であるが、競技外の 時間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。

(4)卓球競技大会主催者が準備すべき事項

- ・会場入り口、受付
 - *手指消毒剤の設置
 - *受付等にて人と人が対面する場合は、三つの密を避けるよう配慮すること。
- ・手洗い場所・洗面所(トイレ)
 - *手洗い場には石鹼(足踏み式手指消毒器が望ましい)を準備する。
 - *「手洗いは 30 秒以上」等の掲示
 - *手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)
 - *参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。
- ・更衣室
 - * 一度に入室する参加者の数を制限すること。
 - * 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所
 - *ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等については、こまめに消毒すること。
 - ※状況に応じて、担当スタッフを設置するか判断する。
 - * 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

(5)卓球競技会場、試合進行上の特別処置

- ・換気
 - *換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと。
 - *競技場内の部屋(役員室、更衣室)の利用にあたっては、30 分ごとに十分な換気を行うこと。
- ・卓球台の設置、卓球台・ボールの消毒

- *卓球台は十分な間隔を開けて設置する(4m 以上)。
- *卓球台、ボールの消毒
- ※消毒法等については協会内強化ガイドラインに順守する。

(6)卓球競技大会開催時の感染防止策について(参加者)

- ・試合を行う際の留意点
 - *タオルの共用はしない。
 - *タオルは台の下にかけない。
 - *飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない。
 - *卓球台の上で手を拭かない。
 - *シューズの裏を手で拭かない。
 - *握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - *不要な声出しはしない。

(7)卓球競技大会開催時の感染防止策について(スタッフ)

- ・全スタッフがマスクを着用する。
- ・必要に応じて会場内にボールパーソンを配置する。
- ・ボールパーソンはボールを拾う際に直接手で拾わず、アミを利用することを推奨する。
- ・汗などの体液に触れる作業を行う場合は手袋を着用し作業後廃棄する。

図 1

感染症対策へのご協力をおねがいします

！手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのばすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗います。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



出典：厚生労働省のホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf>